

RADIUS 認証サーバソフトウェア fullflex EG7 SmartCS シリーズ接続設定例

エスアイアイ・ネットワーク・システムズ株式会社

本資料は、株式会社アクセンス・テクノロジー社製 RADIUS サーバソフトウェア fullflex EG7 の設定資料です。弊社製品コンソールサーバ SmartCS シリーズを RADIUS 認証クライアントとして利用する場合の補助資料としてお使いください。

fullflex EG7 の設定の詳細につきましては株式会社アクセンス・テクノロジー社発行のマニュアルをご確認ください。以下 URL よりダウンロード可能です。

<http://accense.com/download/>

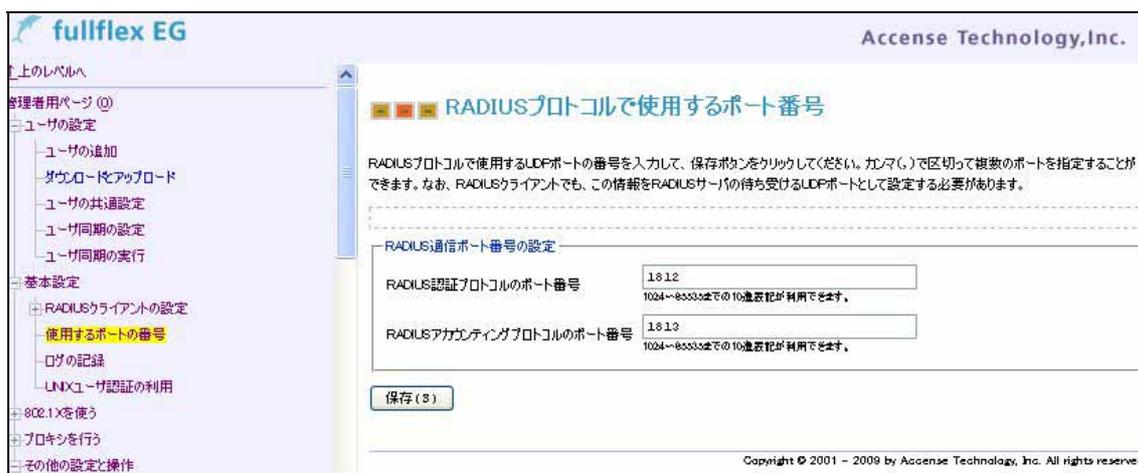
SmartCS シリーズの設定の詳細につきましても「取扱説明書」、「コマンドリファレンス」をご確認ください。

RADIUS 認証/アカウントサーバについて

| | |
|-----------------|--|
| 製品名 | fullflex EG7 |
| メーカー | 株式会社アクセンス・テクノロジー |
| 確認済みソフトウェアバージョン | バージョン 2.8.1 ビルド番号 191 リリース日 20090731 |
| 設定方法 | WEB |
| AUTH ポート | 1812(変更可) |
| ACCT ポート | 1813(変更可) |

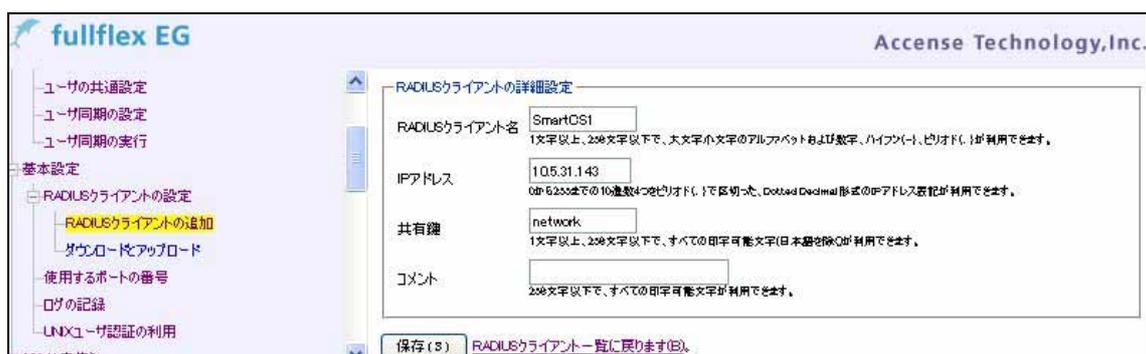
RADIUS サーバ設定

- 「管理者用ページ」 「基本情報」より、「使用するポート番号」を選択します。
- RADIUS 認証/を行う待ち受けポート番号を SmartCS シリーズの RADIUS サーバ設定と一致させてください。SmartCS シリーズのデフォルトの設定値は「1812/1813」です。
- fullflexEG7 の認証方式はデフォルト設定で「PAP/CHAP」ですので設定の必要はありません。



RADIUS 認証クライアントの設定

- 「管理者用ページ」 「基本情報」より、「RADIUS クライアントの追加」を選択します。
- SmartCS シリーズの「ホスト名」、「IP アドレス (例では 10.5.31.143)」、RADIUS 認証サーバと共通の「共有鍵 (例では network)」を設定します。



ユーザの登録方法

- 認証ユーザの登録方法
- 「管理者用ページ」 「基本情報」より、「ユーザの追加」を選択します。
 - ◇ ユーザ ID、パスワード、認証方式を設定します。認証方式は「標準」を選択してください。

The screenshot shows the 'fullflex EG' management interface for 'Accense Technology, Inc.'. The page is titled 'ユーザの追加' (Add User). A sidebar on the left contains navigation links such as '管理者用ページ', 'ユーザの設定', '基本設定', and 'RADIUSクライアントの設定'. The main content area is titled 'ユーザの追加' and includes a sub-header '新しいユーザを追加します。' followed by instructions. The '基本情報' (Basic Information) section contains the following fields:

- ユーザー名: portuser1 (with a note: 1文字以上、256文字以下で、大文字小文字のアルファベットおよび数字、空白(), ハイフン(-), アットマーク@, ヒリオブ(), スラッシュ(/)とアンダースコア(_)が利用できます。)
- パスワード: network (with a note: 7行を込んだ文字がそのまま表示されるので注意してください。4文字以上、256文字以下で、すべての印字可能文字(日本語を除く)が利用できます。)
- 認証方法: 標準 (with a dropdown menu showing '標準' and 'Secur ID', and a note: 必須です。0を指定した場合は制限を行いません。空白にした場合は共通設定に依ります。)
- 同時接続セッション数: 118 (with a note: 必須です。0を指定した場合は制限を行いません。空白にした場合は共通設定に依ります。)
- このユーザを無効にする。
- 有効期限: (empty field)

➤ 応答アトリビュートの作成

- ◇ 認証成功時に、fullflexEG7 から SmartCS シリーズに送付されるアトリビュートを設定します。

SmartCS シリーズの filter_id_head 機能やアクセスグルーピング機能を利用する場合には、Filter-Id アトリビュートの設定が必要です。
- ◇ filter_id_head 機能を利用する場合、そのユーザをポートユーザとして認識させるには、アトリビュートを「NS2240_PORT」、またアクセス可能な tty を 1 番ポートから 4 番ポートまでに制限するには、下図のように設定します。

fullflexEG7 と SmartCS シリーズの設定でアトリビュートの「値」のヘッダ部を一致させる必要があります。



SmartCS の設定

ヘッダ部を合わせる

```
set auth radius server 1 portusr filter_id_head NS2240_PORT
```

- ◇ アクセスグルーピング機能で、SmartCS シリーズの管理ユーザを「admin_grp」、一般ユーザを「normal_grp」、ポートユーザを「grp1」と「grp2」にグループ分けする場合は下図のように設定します。Fullflex EG7 と SmartCS シリーズの設定でアトリビュートの「値」を完全に一致させる必要があります。



SmartCS の設定

合わせる

```
create auth access_group normal radius filter_id normal_grp
```

Tullflex EG Accense Technology, Inc

管理画面 (0)

ユーザの設定

- ユーザの新規追加
- ユーザの検索
- ユーザの削除
- ユーザの同期
- ユーザの同期実行

基本設定

- RADIUSクライアントの設定
 - RADIUSクライアントの追加
 - ユーザの新規追加
- 後援するボートの番号
- ログの記録
- UNIXユーザ認証の利用

その他

- プロキシ
- プロキシ
- その他

ユーザの設定と操作

- 管理者パスワードの変更
- ユーザパスワードの再設定
- システム起動時の自動起動
- ユーザのアクセス制御
- HTTPサービスの設定
- サービスの開始/停止
- 管理者メール
- データベース情報の最適化

設定詳細

- ユーザの設定
- ログの表示
 - ユーザログの表示
 - 動作ログの表示
 - 認証ログの表示
 - アカウントログの表示
 - パスワード変更ログの表示
 - 統計情報の表示
 - ログの管理

基本情報

ユーザ名: **admin** (管理ユーザ)

パスワード: network

認証方法: 標準

同時接続の制限: 100

このユーザを無効にする:

初期値による認証制御

制御権限: 共通設定に返す

制御権限: 無効

電話番号認証

利用可能な電話番号

属性を個別に設定する必要がある場合は以下に指定してください。

アクセス要求を課税する必要がある場合

課税額: 0

課税単位: 1

課税条件: filter-id = "admin_grp"

SmartCS の設定

合わせる

create auth access_group normal radius filter_id admin_grp



SmartCS の設定

```
create auth access_group portusr port 1-16,24 radius filter_id grp1
create auth access_group portusr port 20-32 radius filter_id grp2
```

設定の反映

- 各項目の「保存」アイコンをクリックすると即時反映されます。

補足

- 認証ログ/アカウントログは「管理者用ページ」 「ログの表示」で確認します。

以上